

# 平成 26 年度事業報告書

一般財団法人日本グラウンドワーク協会

(必要に応じてグラウンドワークを GW と略記)

今までの延長で事業を継続することが困難になったため、4 月末日を以て職員全員を解雇し、無給に近い事務局長と非常勤臨時職員 2 名、計 3 名で新体制への移行を模索することとなった。

一方、6 月末で任期の切れる理事、監事については「新生 JGA 検討委員会」の結論が出てから改選することとし、7~8 月の委員会での検討結果を踏まえて、1 月の臨時評議員会で理事を選任、3 月の理事会で理事長、専務理事を選定して、新体制が確立した。

そのような中で、平成 26 年度事業については、全国のグラウンドワーク活動団体に向けた情報提供を中心にする事とし、メルマガの発信 (月 2 回)、Groundwork Today の発行 (年 1 回)、ホームページの更新を続けるとともに、休眠していた協会フェイスブックを復活させた。

## I. 助成金等事業 (企業等からの資金を活用し、GW 活動団体等が実施する活動に助成)

拠 出 者	事 業 内 容	備 考
参加費徴収セミナー： 一般の方を対象にした 「住民主体の地域づくりを目指して」と 専門家を対象にした 「土地改良事業と地域住民の関わり」	一般市民を対象にした GW セミナー (講師は GW 笠間、GW 福岡など、有料参加者 18 名) と土地改良事業の専門家を対象にした GW セミナー (講師は農水省の事務所長、GW 笠間、GW 西鬼怒など、有料参加者 21 名) を開催した。開催に当たっては、参加費を徴収し、講演と質疑の終了後、各団体で作っている加工食品も使って簡単な交流会を行った。	270,726 円 (収入： 297,910 円)
住宅エコポイント事業 及び GW 活動団体の寄付金による東日本大震災被災地復興支援活動事業	住宅エコポイント制度による寄付 (H25.5~26.4 分) と東日本大震災被災地復興支援のための GW 活動団体による寄付金を活用し、宮城県気仙沼市本吉町が期待しているサケの加工施設建設具体化のため、GW 福岡と協会が出向いて相談調整を行った。	529,758 円 うちエコ P 18,373 円 うち震災寄付 511,385 円
(株) ライフコーポレーション	(事情により、平成 26 年度事業は 27 年度前半に実施することとなった)	0 円

## II. 受託事業等 (行政機関等からの要請に応じ、地域住民活動の活性化に繋がる業務を実施)

委 託 者 (目 的)	主 な 事 業 内 容	備 考
全国土地改良事業団体連合会： 農山漁村被災者受入円滑化支援事業 (農水省事業の下請)	震災被災地の農家で、当面、自宅を離れて農業に取り組みたい人を対象として、情報を把握し、主として NPO ルートで受入地域とのマッチング業務を行う。平成 26 年度は福島県大熊町、川内村、葛尾村、浪江町の農家等にヒアリングを行うことが中心になったため、「NPO 法人元気になるろう福島」に現地業務を再委託した。	1,500,000 円 うち再委託 995,600 円